

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が進んでいるが、個人、企業共に出控え感は見受けられず、移動関連消費や飲食レジャー消費は依然堅調である。
	◎	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・夏休みに入り子供が家にいて、新型コロナウイルスの新規感染者数も増えているので、なるべく自宅で食事を済ませるために買物が多くなる。
	◎	コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して来客数が伸長し、特に気温上昇に伴い飲料を中心に好調である。一方で、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、中旬以降は来客数が頭打ち状態である。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍に見舞われる以前に比して観光客は80%くらいの回復状況である。マイカー移動はほぼ以前の状態まで戻っている。人々の顔つきも明るい。ただし、新型コロナウイルス変異株の相次ぐ発生による第7波で介護施設の高齢者クラスターや若年層の感染者が飛躍的に増加し、観光客の回復に歯止めが掛かった。観光客団体はバスの姿がほとんど見えずほぼゼロである。
	○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが猛威を振るっているが、行動制限のない状況でもあり、来客数は微減にとどまっている。高額品の需要が引き続き好調であり、店全体の売上増加に大きく貢献している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は3か月前と比べると増加傾向にあるが、新型コロナウイルス新規感染者数の急増によりテレワークが増えて、来客数の減少が懸念される。従業員の家族にも感染者や濃厚接触者が増えており、また、政府が駅等で無料のPCR検査等を進めているので、再流行が非常に懸念される。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ここ2～3か月は僅かであるが来客数、売上共に少し前年を上回り、新型コロナウイルス感染症発生前の水準ではまだ9割程度であるが、徐々に良くなっている。
	○	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・直近月の来客数は前年比102.4%で、前月に続き好調を維持している。新型コロナウイルス感染症が再び流行するなか、行動制限がないことが幸いし来客数の鈍りはない。また、地域のイベント等でも行動を控えるような状況は見受けられなかった。結果的に3か月前と比較して景気の鈍りはない。
	○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・暑くなり、来客数が増えている。新商品のスイーツや人気商品の増量セールもあり、好調に売上を伸ばしている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・数か月前は生産予定が全くみえない状況だったが、最近はおおよその納期を伝えられるようになり、大きな変化である。
	○	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・全体的な相場は安い。客の様子も含め少し足踏みしている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は急激に増え、社内など身近なところでも感染者が出て新型コロナウイルスの感染が間近に迫ってきているが、販売量は少しずつ上がってきた。生産調整、部品不足による納期の遅れが世の中で許容されてきており、客の方が早めに注文しておこうという雰囲気になってきている。
	○	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・商業施設や住宅等のリフォームなど、見積りや引き合いが多くなっている。
	○	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・年度初めより行動制限の緩和から客の動きが活発になり、来客数が前年、更に前々年を上回る日が出てきた。特に週末の来客数は多いが、7月後半から新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により平日が落ちかけていることが気掛かりである。
○	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢や物価高などを経験していくなかで、それぞれに耐性が付いてきている。その時点での状況に対応している。	

○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・3か月前はまん延防止等重点措置が解除され少し動き始めた程度であった。この3か月は感染症対策の措置がなく、7月に入ってから新型コロナウイルス感染拡大の影響で足踏み状態であるが、4月頃と比べればやや良くなっている。
○	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・前年比では大きく改善するものの、新型コロナウイルス感染症発生前の2019年比では、いまだマイナスが続いている。
○	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・ホテルの一棟貸しに対する支援を受けており、助かっている。
○	旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・主に社員旅行などの会社行事で、団体旅行のキャンセルは新型コロナウイルスの感染拡大に比例して発生しているが、個人旅行の客は以前ほど敏感な反応ではない。
□	商店街(代表者)	お客様の様子	・毎度のことであるが、新型コロナウイルス感染症が拡大してきたせいか、商店街に来る客が減ってきている。
□	商店街(代表者)	お客様の様子	・急激に新型コロナウイルスオミクロン株の別系統が拡大しているため、せっかく戻りかけていたホテル宿泊や宴会が中止や縮小になっている。
□	商店街(代表者)	それ以外	・コロナ禍が続くなかで、事業の縮小や廃業・閉店が後を絶たない。厳しい状況が続いている。
□	一般小売店〔生花〕(経営者)	来客数の動き	・猛暑と雨天のなかではなかなか買物に来てくれない。新型コロナウイルスの新規感染者数は増え続け、高齢者は特に怖がって外に出る回数を減らしている様子である。花の仕入価格もじわじわと上がってきて厳しい状況である。
□	百貨店(売場主任)	単価の動き	・クリアランスの時期は、例年ならば前半は高額商品がよく売れていたが、今年は高額商品の売上が厳しくカジュアルシューズを購入する客が多い。年配の客が多いため、ウォーキングシューズ、履きやすい靴や柔らかい靴の間合せが多い。高額商品が売れないため、関連商品であるシューケアセットなどの売上也厳しかった。
□	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・せっかく来客数も増え上向きになってきたところに、また新型コロナウイルスの感染拡大により来客数が減っている。
□	百貨店(販売担当)	来客数の動き	・良い兆しがみえてきた矢先に新型コロナウイルス感染拡大の第7波が来てしまい、日に日に入店客は減少した。テナントビルの施策も影響を受けてしまい、販促につながらなかった。
□	スーパー(店長)	お客様の様子	・商品の値上げで1品単価は上がったが、悪天候が続く来客数が減少し、買い控えで売上点数も減ったことで売上は減っている。
□	スーパー(店員)	販売量の動き	・売上は前年並みでも売上点数は90%台前半が続く。相変わらず値上げに支えられているに過ぎず、予断を許さない状況が続いている。
□	スーパー(販売担当)	それ以外	・安い商品が売れて、余分には買わないという状況は以前と変わらない。商品の値上げで単価は上がったが、点数が増えない。
□	スーパー(販売担当)	販売量の動き	・商品値上げの影響は、日用品などでは余り購買の減少にはなっていない。嗜好品やレジャー関連では購入の回復がみられる。天候が少し不順で、季節品が伸び悩んでいる。
□	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・天候は良いが、来客数がなかなか前年以上になってこない。
□	コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・7月上旬は梅雨明けが早く天候が良いことで売上が上がったが、中旬以降は梅雨の戻りで天候不順が多く、来客数の伸び悩みがあった。下旬には新型コロナウイルスの感染再拡大で客の出控えが少しずつ顕著になり、おにぎりやサンドイッチなど主要商品の販売数が減少する傾向にあった。
□	コンビニ(店長)	来客数の動き	・客単価で結果的に助けられたが、来客数の減少が顕著で、今後の動向が不透明である。
□	衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・客の仕事量が安定している様子は、備品の購入量からうかがえる。ただし、財布のひもは固く、必要な物は購入するが衝動的な買物は減っている。

□	衣料品専門店 (売場担当)	お客様の様子	・行動規制が緩和されて数か月が経過しているが、いまだ買い控えが続いているように感じる。また、報道等では時計等の高額商品の売行きが伸びているとのことだが、自分の周りではそのような雰囲気は感じられない。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の生産遅延により売上が停滞しているものの、中古車価格の高止まりにより収益的には横ばいが続く。
□	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・原油価格の高騰によるガソリン代やオイル代などの値上げを受けて、客からは出費がかさむという声が多い。
□	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・今までできていなかったイベント、行事やいろいろなことが動いていて、景気は上向いている様子である。ただし、問題はやはり新型コロナウイルスである。
□	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルス第7波の感染拡大により、先週辺りから来客数が伸びず苦戦している。
□	バー(経営者)	来客数の動き	・食事中心の飲食店ではかなり客が戻ってきていると聞くが、夜9時くらいまでの早い時間帯だけで終わる。その後の2件目はほとんどない。2件目利用のバーなどは、まだまだ厳しい。その上、また新型コロナウイルス感染が拡大してキャンセルが出て、来客が目に見えて落ちている。
□	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	来客数の動き	・県民割により飲食店や宿泊施設などの取引先が新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで売上を戻しており、当社も同様に売上は堅調であった。新型コロナウイルスの感染再拡大によりその勢いがそがれるかと懸念しているが、7月下旬時点では、その兆候はみられない。
□	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・4月以降は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたため宿泊やランチが持ち直しつつあったが、新型コロナウイルスの第7波の感染拡大とともに、宴会・レストランが打撃を受けつつある。
□	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・旅行では県民割が4月より実施されていて、実施期間においては販売も好調であるが、実施期間が8月末までと限定的である。
□	旅行代理店(経営者)	それ以外	・自動車関連製造業に関しては、半導体不足や新型コロナウイルスの感染拡大による製造休止による生産の落ち込みも、円安効果のためか特に消費には影響がないと考えられ、街中の雰囲気には暗さはみえない。人出も多く、ランチタイムのレストランも多く女性客でにぎわいも戻っているが、店によって大きく差が出ている。
□	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症発生前よりも円安になり、コストも増え、航空運賃だけでなく燃油料もどんどん値上がりし、一方で、帰国前PCR検査の撤廃はない。旅行費用の上昇よりも帰りのPCR検査が不安という声もある。もし、新型コロナウイルスに感染していると現地で足止めとなり、その後の仕事に支障が出るので今年は断念するという客が多かった。国内旅行にシフトではなく来年以降になった。県民割の影響で、例年近隣県に行く客が取り込めなかった。当社からの予約では割引が利かないため直接ホテルに予約する人が多い。大手だけ得をしている仕組みはおかしい。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・当地でも7月中旬頃から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向になり、相撲部屋で感染者が出た影響で少し客が少なかった。プロ野球でも選手やコーチが感染して3試合がなくなった。夜の街でも、高級店では予約数を減らし、一般客も以前のように大人数では行動しない。したがって、夜の街の売上が少し減少している。
□	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・折込チラシや店頭でのPR営業に対する反応が薄くなってきており、解約件数も高止まりしている。入居するショッピングセンター自体の来客数も、低レベルで推移している。

□	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・転居に伴う光回線の新規申込みが増えているようにもみえる反面、移転に伴う他社回線への乗換えも多い。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・機器の単価も上がり、購入を控える状況は変わらない。
□	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・機器不足が現状も続いている。
□	テーマパーク職員（総務担当）	お客様の様子	・来客数、販売状況の変動が少ない。団体客が伸び悩んでいることも要因の1つである。
□	観光名所（案内係）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響だと思いが、予約のキャンセルがやはり増加している。
□	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・3か月前と比べて観光目的で列車を利用する客を見掛けるようになったものの、数字としての定期外収入は余り上向いていない。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加で、営業活動に支障が出ている。建築材料の価格高騰で価格変更を余儀なくされている。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・6月に動きが前倒しになったこともあり、7月は増加しなかった。
▲	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加している。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響が顕著に出ている。
▲	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・結婚式、葬式、イベント等は、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えると人との付き合いを避けるため、客の様子として集まりが少なくなっている。売上、販売数、結婚式や葬式の数の全てが少なくなっている。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店でのアルコール販売量は、1週目、2週目と比べて3週目は半分、4週目は更に半分と、新型コロナウイルス新規感染者数の増加とともに減っている。当県で1日の新型コロナウイルス新規感染者数が1万人を超えた頃から、飲食店ではキャンセルが相次ぎ新規予約が控えられている。
▲	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	単価の動き	・外出制限が解除されて人出が戻ってきているかのように見えたが、売上がなかなか上向いてこない。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・円安の影響で買い控えが発生している。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は、中旬から新型コロナウイルスオミクロン株B.A.2よりも更に感染力が強いとされるB.A.5に置き換わりが進み、連日過去最多の新規感染者数を確認するなど感染が再拡大している。それに伴い再び来客数が前年を下回る日が増えている。
▲	百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、来客数、売上共に直近数か月前と比較して大きくマイナスとなっている。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大で客が激減している。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が92%台で推移している。
▲	スーパー（店員）	お客様の様子	・春の値上がりから、円安やウクライナ情勢、石油価格の急激な上昇による短期間での再値上げの影響で、買い控えがおきている。
▲	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・来客数、買上点数の減少がみられる。原料費の値上げによる商品価格の値上げが続いている影響である。
▲	衣料品専門店（売場担当）	来客数の動き	・来客数が非常に少なくなった。店内が土日でも非常に静かに感じる日が多い。3連休も少なかった。当店だけでなく他の店舗でも同様であった。
▲	家電量販店（店員）	単価の動き	・買換え需要がほとんどだが、価格の一番安い物を選ぶ客が多い。

▲	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・7月は増販期であるが、新規で商談に来店する客はほとんどなく、商談にならない。新車の納期が掛かるため、自社の点検の客に納期を伝えて新車を勧めるしか方法がない。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・前年と比べれば販売量は少し上向いてきているが、半導体等の供給不安定により車両の生産が進まず、計画に対して7割ほどの実績しか出ていない。半年待ちだった納期が1年を超える車種も出始めており、納車のめどが立たず非常に厳しい状況になっている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・元首相襲撃事件や、新型コロナウイルスの感染状況が一気に拡大してきた状況で物は作れず、客の様子も暗く景気は悪くなってきている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染急拡大のため、客が来店をちゅうちょしているように感じる。新型車が発表されたが、高級車であるため来客数の拡大にはつながらずそれほど店舗に活気は出ていない。さらに、新型コロナウイルスの感染状況や、部品の調達難のため、工場の生産が遅れているとの情報も客の購買意欲を削いでいる。
▲	その他専門店 [貴金属] (経営者)	来客数の動き	・7月に入って新型コロナウイルス新規感染者数急増の影響から、明らかに店前通行客量が減少している。多種多品目での値上げの影響もあり、セール時期にもかかわらず消費意欲が冷え込んでおり、売上が低迷している。
▲	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・余り商品が動いていない。したがって、仕入れも少ない。特にビール系の商品が出ていない。
▲	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響である。
▲	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響により、キャンセルが相次いでいる。
▲	一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・居酒屋を営んでいるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきて、またばたりと客足が止まった。
▲	都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4名以上の予約が激減した。今月のレストランの予約は、20%がキャンセルとなった。
▲	旅行代理店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症のまん延による需要の低下が顕著に表れている。
▲	旅行代理店 (営業担当)	お客様の様子	・以前の波に比べると少ないが、新型コロナウイルスの第7波の感染急拡大に伴い旅行取消しが発生している。県民割で個人旅行は順調に伸びていた矢先の急拡大のため、旅行の取消しや見合せが8月一杯は続くと思われ、厳しい状況へ逆戻りとなった。
▲	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・円安の影響によるスマートフォンの値上げが、売行き低迷のきっかけになっている。
▲	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響が学生団体のキャンセルがあり、一般来客数の動きが弱くなっている。
▲	レジャーランド (職員)	来客数の動き	・例年より早い梅雨明けだったが梅雨と変わらないような天候が続いた。さらに、第7波となる新型コロナウイルスの感染拡大が夏休みと重なり、行動制限がないとはいえ出控えの影響を受けた。
▲	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきているため、キャンセルが多い。
▲	ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・7月は戻り梅雨の影響が大きく、入場者は5か月ぶりにやや低迷している。天候不順によるものが大きいですが、3か月前と比べ、やや景気が悪い。
▲	理美容室 (経営者)	来客数の動き	・暑くなって忙しくなる時期だが、客が来てくれない。
▲	美顔美容室 (経営者)	来客数の動き	・ホワイトニング商品はまずまずだが、直前での来店キャンセルが多少出てきている。新型コロナウイルスの感染状況は、客本人ではなく家族や職場での濃厚接触が目立ってきている。
▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・客からは、電気代や食料品などが値上がりして結構厳しいという話と、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため外出を控えているという話をよく聞く。

	▲	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株BA. 5の影響で、やはり厳しい。
	▲	設計事務所（職員）	お客様の様子	・客からは景気の良くなる話は全く聞かない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前年同月と比べて販売量が30%ダウンした。前年が良かった点はあるが、販売棟数は来場者とともに落ちた。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	それ以外	・医療関係、物流倉庫の仕事が増えてきたため、人員確保を進めても若い人は集まらず、求人にも苦戦している。景気回復の見通しがまだまだ立たない状態である。
	×	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波を受けて、来客がない。
	×	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が急激に進み、ここ1週間で来客数が急減している。一方、高額品の販売には今のところ影響は出ていない。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増により飲食店の来客数も大幅に減ってきていると聞く。当店の来客数も5%強減少した。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が急拡大している上に猛暑や諸物価の上昇で、なじみ客どころか一見客の来店も少ない。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業者も新型コロナウイルス感染収束のリベンジ消費がないまま、また新型コロナウイルスの感染拡大で来客数は激減したと話している。
	×	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・5月の連休明けから、急激に売上が前年比25%落ち込んだ。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響である。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きから、悪くなっている。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	来客数の動き	・ウクライナ紛争がそろそろ目に見える形で影響し始めたと同時に、円安や失われた30年問題など閉塞感しかないニュースがまん延し出した頃から、身の回りの景気が悪くなった。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大とこの暑さ、そして高齢化のため来客数がとても減った。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月設計依頼がほとんどない。このような状況は初めてである。
	×	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・分譲する土地が少ないため、土地単価が上がっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・廃業する下請業者が増えてきた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米の自動車向け設備投資は、引き合いが増えてきて活況である。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・材料調達に困難になり、それに伴う原材料コストも上昇しているなか、人流が活発になることでサービスの需要が高まり、かつ、モノの需要も拡大している。
	○	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているものの、まだ営業時間短縮等を行われておらず、皆好きに外に出て金を使っている状況が多いため、景気としては比較的良い。
	○	会計事務所（職員）	それ以外	・家族が日帰りバスツアーに出掛けたが、車中は客で一杯だと言っていた。旅行会社が定員一杯募集するようになり、参加希望者もそれくらいいるということである。新型コロナウイルスの新規感染者数が増えても、行動制限が掛からなければ、消費行動にでるようである。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売数量共に新型コロナウイルス感染症発生前の数字に戻らない。
	□	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・景気が良くなっている感覚はない。食品を始め多様な値上げのニュースに触れて元気がない。新型コロナウイルスの感染再拡大も不安な要素ばかり先行する。

□	化学工業（総務秘書）	それ以外	・これまでにない新型コロナウイルスの感染の波が発生しており、人々に警戒感が戻ってきている。この時季の厳しい暑さもあり、元気に外出する人は少なくなっている。
□	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格や電気料金が上昇している。価格の改定を行う予定であるが、納入予定の製品に対しては従来価格での納入の要望が多い。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響は限定的で、かといって良化する要素も余りない。
□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料の値上がり分では売上は増加しているが、受注量、販売量は、共に横ばいが続いている。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・放送、通信関係の取引先での設備投資意欲は変わらず強いが、電子部品の需給不足により計画どおりの機器生産となるか不安な状況が続いている。原材料の価格高騰による利益圧迫もあり、前年比で減益は避けられないと見込んでいる。
□	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・8月の大手自動車メーカーの生産計画は年初計画に比べて15万台減少という新聞記事があり、来月の話ではあるが良い状況ではない。
□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・作業依頼や受注はあるが、公共関係の工事等では半導体不足の影響で部品が入らないこともある。仕事のボリュームは、前年頃から時期がずれた状態で発注となっているため、余り影響はない。
□	輸送業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでも外出機会は増えているというが、生活必需品の物量は減少傾向である。その一方で燃料価格の高止まりや人手不足によるコストアップは続いている。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの荷物量が3か月前と同水準で全く増えていない。新型コロナウイルス感染症発生前と比較すると破格に荷物量が落ちており、日々全国で2000トンほど減少している。悪い状況がずっと変わらない。
□	通信業（法人営業担当）	それ以外	・ロシアのウクライナ侵攻による諸物価の上昇、8月以降も更に電気、ガス等、計りしれない値上げ等の動きがある。庶民への影響は今後ますます大きくなる。
□	金融業（企画担当）	取引先の様子	・原材料を中心に価格高騰、品不足があり、コスト増加が続いている。円安がプラスに影響しない業種では、業績が芳しくない企業が多い。株価もボックス圏で推移しており、個人の投資家も様子見が多い。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日が多い上に、下旬には徐々に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、外出や遠出をする人が徐々に減少傾向になっている。厳しい状況ではあるが、売上は前年同月を上回る状況が継続している。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が地元でも最多になったこともあり、各企業も広告発注を少し足止め状態にしている。
□	行政書士	受注量や販売量の動き	・トレーラーを扱っている業者は、鋼材の稼働はぼちぼちだが住宅メーカー分の稼働は落ちているという。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・全体的に停滞している。良い要素がなかなかなく、多くは慎重な動きをしている。各企業では手持ちの仕事を、今ある装置、機械などで何とか切り盛りしようと考えている。そのため、当社の新製品もなかなか成約にはならない。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波で新規感染者数が日々増加している。このような状況のなかで大きな打撃を受けており、受注量、販売量が減少し、景気はやや悪い。
▲	化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・プラスチック原料の国産ナフサが大幅な値上げとなっているが、客先への値上げ交渉が難航している。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・半導体関係の供給不安は続いているが、原料の入手難への不安は少し落ち着いたので、客からの先行注文は少なくなってきた。ある程度の在庫を確保されたので、通常の出注量に戻っている。
▲	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が回復しない。前年比でも2割強程度の現状である。

	▲	金属製品製造業 (従業員)	取引先の様子	・ステンレス材を始めとする主材の高騰はまだ止まらず、価格転嫁の道筋もみえないため、収益的にかなり苦しい。
	▲	電気機械器具製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・急激な円安により輸入品が高騰し、材料単価やエネルギー単価が上がり製造コストが大幅に上がっている。しかし、業界全体としては不況でメーカー間の競争もあるため、製品単価に部品単価の値上がり分を転嫁できず難しい状況である。
	▲	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	取引先の様子	・取引先企業では、構内請負の作業が今まであったが全部カットになり、社員ラインに変更になりつつある。
	▲	輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・客先で週3日休みが増えている。ICチップが足りないため製造ラインが動かせないという話をそこかしこで聞く。予定が下方修正されており、その状況は年内は変わらないだろうという話である。
	▲	建設業 (役員)	受注量や販売量の動き	・分譲住宅を検討する客が極端に減っている。来場件数が少なく契約が伸びず厳しい。新型コロナウイルスの急激な感染拡大の影響か、あるいは、夏休みに入ってレジャーへの動きが活発化しているせいだろうか。
	▲	輸送業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・荷主の業種によっても異なるが、3月頃まではコロナ禍で減った荷動きは回復しつつあったが、4月以降は、落ちたというよりは一旦落ち着いたという感じであった。しかし、7月に入って荷動きは悪くなったと実感する。
	▲	金融業 (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大や円安の影響により、景気が悪くなっている。
	▲	不動産業 (開発担当)	受注価格や販売価格の動き	・当地域の新築住宅取引は、前年より明らかに悪くなっている。
	▲	新聞販売店 [広告] (店主)	受注量や販売量の動き	・折込広告の受注が減少している。
	▲	公認会計士	取引先の様子	・売上が減少している客が増えている。特に来店や対面を中心とするサービス業では、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い来客数が減少している。また、円安の影響により輸出を中心する企業は、売上は増加しているが販売先の増加につながっておらず、実質的な販売増加にはなっていない。また、物価上昇により仕入コストが増加しても、販売価格に転嫁できていない企業が多い。
	▲	その他サービス業 [ソフト開発] (社員)	それ以外	・注文したバイクが、部品供給未定のため発売時期が未定となってしまった。
	×	*	*	*
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・主要客では引き続き外部活用を抑制している状態であるが、その他の自動車部品メーカーでは、新しい開発テーマに向けて外部活用のハードルを下げる方針を示す客もある。
	○	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・求職者数は2か月ぶりに減少したものの、離職票発行枚数は2か月連続で増加した。離職票発行の内訳をみると、会社都合によるものが大幅に減少し、本人都合によるものが増加したことから、積極的に転職を希望する人の増加と考えられ、雇用環境の改善がうかがえる。
	○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・有効求人数が若干増加し、有効求職者数が若干減少した結果、有効求人倍率が若干改善した。
	□	人材派遣会社 (経営企画)	周辺企業の様子	・開発需要は堅調である。
	□	人材派遣業 (営業担当)	周辺企業の様子	・製造業を中心に受注等は回復傾向にあるが、原材料費や燃料費の高騰により、利益確保には程遠い状況である。
	□	人材派遣会社 (企画統括)	求職者数の動き	・新規求職者数が人材派遣、人材紹介のいずれも減少に転じており、前年同期比でも微減している。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数は、3か月前比では減少しているが、前年同月比では増加している。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の第7波の影響や物価上昇の影響がある。

□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・半導体不足による自動車関連の生産停止が続き、下請企業も追隨して生産停止を余儀なくされている。半導体供給の先行きが見えない状況で、収益面も厳しい状況が続く。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・長引くコロナ禍、ウクライナでの戦争や円安の影響で、地方の景気は悪いまま変わらない。街中の目抜き通りにも空き店舗が更に目立つようになっている。企業の採用に関しては難しい状況が続いており、来春入社の大卒新卒も目標に届かない企業が多い。高校生採用も例年から様変わりしており、苦戦している企業が目立ってきている。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・人の動きは回復している。物価高、円安などが絡み消費の動きは鈍い。
□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が増加した業種の方が多いが、全体として大きな増加はみられない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前比、前年同月比共に上回ってきているが、飲食サービス業等一部の産業で前年同月を下回っている。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・引き続き企業の採用意欲は旺盛であり、事業成長や事業発展に向けてキャリア採用に積極的な状況である。
▲	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染が拡大している。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が3か月前と比べて低下した。
×	—	—	—